

論文・レポート作成の達人になろう！

～資料作成のための10のステップ～

好奇心旺盛な
あらいぐま博士



あらいぐま博士の豆知識シリーズ 7

それでは、論文・レポート・演習資料作成のための10のステップをみてみましょう！

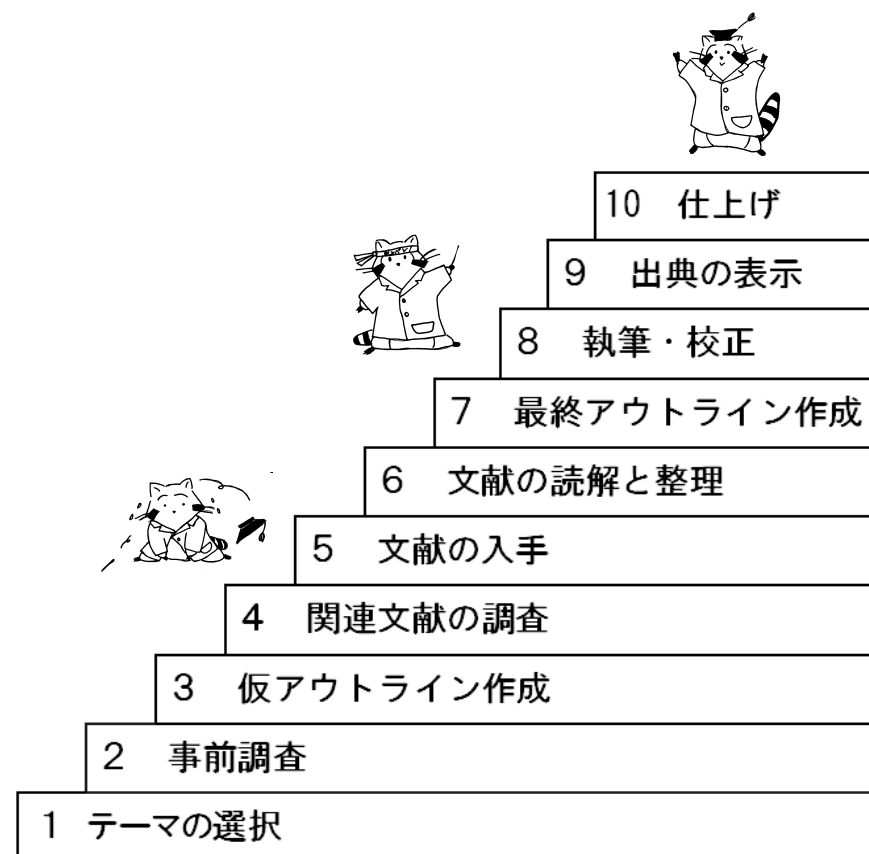
レポートを書く時に、途中で論が進まなくなって、思ったようにレポートが仕上がらなかった経験はありませんか？

そんな経験から、「レポート」、「論文」と聞くと、なんとなく難しそうと感じる人が多いかもしれません。

しかし、適切な手順、方法をとると、しっかりとした論文を書くことができます。

豆知識7では、論文・レポート・演習資料作成のための10のステップを紹介します。

論文・レポート・演習資料作成のための10のステップ



1.テーマの選択から順番に階段を登っていく感じだね。
頂上は、仕上げ（できあがり）だよ。

Step 1：テーマの選択

書きたいテーマを絞り、訴えたい主張をはっきりさせる。

- ◆ 自分の関心、疑問、主張などの中から、人に訴えたい話題を選び出す
- ◆ その話題について、どこがどう問題なのかを明確化する（問題提起）
- ◆ その問題提起に対して、自分がどう考えているのかを文章化してみる(主張)

このように、自分の書こうとしているテーマをより具体的に、また明確にしていくことが必要です。あいまいな状態で調べ始めると、必要な資料をなかなか見つけることができず、時間ばかり

Step 2：事前調査

執筆に入る前に、テーマの全体像とテーマに関係する概念をあらかじめ把握する。

- ◆ テーマに関連する教科書、ハンドブック、百科事典などで関連語の項目を読む
- ◆ 基本用語、人物名、事件名などをメモしておき、更に調べてノートに取る
- ◆ その分野の専門用語も調べる

Step 3：仮アウトラインの作成

最終的に自分の主張を述べるために必要な内容の骨子を箇条書きにする。

- ◆ 自分の主張を簡単に文章化してみる
- ◆ 何を材料にして、どういう方法で調査結果を示すと説得力があるかを考える
- ◆ 論理展開を意識して、どういう順序で示すかを仮に並べてみる

Step 4：関連文献の調査

仮アウトラインに沿って、必要な情報が載っている文献を探してリストを作る。

- ◆ 図書を探す
- ◆ 雑誌記事を探す
- ◆ 新聞記事を探す

必要な情報を集めていくと、自分のテーマに関する研究の進捗、どんな内容の論文が出ているかなど把握することができます。また、材料を集めていると、必要なものが思ったように集まらず、途中でアウトラインの変更をしたり、思いがけないものを見つけて、研究の幅が広がる

Step 5 : 文献の入手

関連文献リストの各文献を所蔵している図書館などを確認し、入手する。

◆ 資料の入手方法

図書館に所蔵されている場合：閲覧、コピー、貸出など
所蔵されていない場合：他大学図書館訪問、相互協力を利用する

Step 6 : 文献の読解と整理

入手した文献の読み解き、自分で評価し、ノートを作り、分類・整理しておく

◆ 読解のポイント

- 1) 文献が書かれた目的は何か？
- 2) 文献が扱っている対象（テーマ）は何か？
- 3) 用いているデータや文献は適切か？情報源は確かか？
- 4) データや文献の分析の仕方は適切か？
- 5) 事実と意見が区別されているか？
- 6) 結論・主張は何か？
- 7) 目的と考察・分析と結果・主張とは一貫しているか？
- 8) どんな理論を用いているか？

Step 7 : 最終アウトライン作成

読解、整理した文献の内容をもとにして、仮アウトラインを見直し、修正、追加、削除を行なって最終アウトラインを作る

- ◆ 仮アウトラインの各項のうち、裏付けの取れたもの、取れなかったものをチェックし、取舍選択する
- ◆ 全体を見直して、仮アウトラインを再構成する
- ◆ 必要があれば、最初の主張も修正する

レポートの内容に関係のない材料はいさぎよく捨てるのが大切です。



ここまできたら、あともう少し！

本文に取りかかろう♪

Step 8 : 執筆・校正

最終アウトラインに沿って材料を文章に書き下ろす

- ◆ 構成を決める
- ◆ アウトラインを当てはめる
- ◆ 本文を書く
- ◆ 文献リストを作成する
- ◆ 推敲する

Step 9 : 出典の表示

引用には出典を示す注をつける

Step 10 : 仕上げ

指定通りの形に整えて、仕上げる

- ◆ 表紙や奥付などを作成し、科目名、課題名、提出日、氏名、学生番号などを記入

完 成！！

今までと比べて、どうだった？



論文やレポートとは…。

「学習や調査・研究などの成果を表現したもの」。
自分の思いつくままに書けば良いものではないよ。読むのは、自分以外の誰か
「先生やクラスメート」にわかってもらうように書かなくちゃいけない。
そのために、ルールが決まっているよ。

ルールが決まっていて、面倒だとか型にはめられていると思うかもしれないけど、ルールに即して書いていくと、書く人にとっても書きやすく、読む人にとっても読みやすいレポート、論文になるよ。

ある課題（問題）に対して、さまざまな角度から検討し、一定の結論を出すということ。説得力のある論文が書けるはずだよ。

特に卒業論文を書く機会は、一生に一度かもしれない。悔いのない論文が書けるように、一緒にがんばろう！